

対象年度	令和 4年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート					予算事業名	工業団地整備推進事業費		
事務事業名	工業団地整備推進事業							根拠法令			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 経常経費	事業の区分	主要事業		
			07	01	07	20			重点事業		
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 活力と創造力を育む商工業の振興 企業支援の推進						担当課係等	商工観光課			
								企業立地推進室			
事業期間	継続 (平成27年度～令和10年度)										
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】					
多くの優良企業を誘致し、産業振興、雇用創出と定住促進に寄与し、市全体が発展する。						圏央道の開通や企業の積極的な設備投資を背景に、工業団地造成を行い、企業誘致を進めている。					
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】					
<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業に関する各種支援 上山川北部地区に整備した調整池の排水を行うための仮設排水施設の維持管理 新工業団地の開発 (関係法令手続き) 						上山川北部地区 新工業団地 【事業をとりまく環境の変化】 日野自動車株式会社古河工場の本格稼働や圏央道茨城県区間の開通により、県西地域における工業団地の需要は高まっている。令和2年6月、上山川北部地区進出企業への土地引き渡しが完了し、市内工業団地には企業誘致を行う用地がない状況である。					
【令和 4年度 事業内容】			【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				
<ul style="list-style-type: none"> 上山川北部地区仮設排水施設の維持管理 新工業団地の関係法令手続き (都市計画・事業認可等) 			<ul style="list-style-type: none"> 仮設排水施設の維持管理 				<ul style="list-style-type: none"> 仮設排水施設の維持管理 				

■事業費

		R02年度	R03年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	4,592	7,925			
歳 入 計 (千 円)		4,592	7,925			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金額 (千円)	金額 (千円)			
	10 需用費	164	333			
	12 委託料	4,428	7,592			
歳 出 計 (千 円) (A)		4,592	7,925			
伸 び 率 (%)			72.58			
備 考						

令和 2年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動 指標	県等との関係法令協議	回	目標	5.00	12.00	12.00
	新工業団地に関する県等との関係法令協議		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	誘致企業	社	目標	5.00	2.00	1.00
	上山川北部地区に立地した企業		実績	3.00	0.00	0.00
	雇用創出数		目標	100.00	100.00	100.00
	上山川北部地区に立地した企業の雇用創出数		実績	99.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	雇用創出による人口流出抑制や税収増が期待され、事業の必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	工業団地整備に対する受益は市全体に及ぶものであり、関係法令手続きや事業への支援を行うことは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	当市としては一般的な手法と考える。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	最低限の体制、予算措置により実施している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	雇用創出による人口流出抑制や税収増の観点から有益な事業であり、受益者は市民全体に及ぶため。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	
進捗度	事業の進捗	A 順調である	スケジュールはほぼ計画どおりに進行している。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

新型コロナウイルス感染症の影響は多少あったが、上山川北部地区の造成工事はほぼ計画どおりに完了した。また、立地企業についても、3社が操業している。
工業団地整備の成果として、定住促進、税収増などの事業効果をいかに早期に見込めるかが課題になる。
また、仮設排水施設については、上山川北部地区の水質の影響で、ポンプが故障するリスクがあることが問題点である。
現在、工業団地内に企業誘致を行う用地がない状況にあることから、新工業団地の適地選定の業務委託を実施し、3地区に絞ることができた。今後は、1地区に決定したうえで、早期に関係法令手続きを進める必要がある。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

工場等の建設がスムーズにできるよう、企業へのフォローをしっかりと行っていく。
仮設排水施設について、定期的に点検を行うことにより、故障のリスクを最小限に抑える。
新工業団地について、しっかりとリスク分析等を行い、認可後、円滑に事業が進むよう、関係法令手続きを進めていく。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）
 改善改革しながら継続
 現状のまま継続（改善・改革なし）
 統合・新規事業への展開
 縮小
 休止
 廃止・終了
 予定どおりの要求
 一部改善の上要求
 今回は見送り
 その他の処置

方向性の具体的内容

工業団地の整備は、スピード感をもって取り組むことが重要である。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充）
 改善改革しながら継続
 現状のまま継続（改善・改革なし）
 統合・新規事業への展開
 縮小
 休止
 廃止・終了
 予定どおりの要求
 一部改善の上要求
 今回は見送り
 その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。